

評価規準（令和 2 年度）【音楽】 6 学年

内容のまとめり	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 歌声をひびかせて心をつなげよう ○明日という大空 (共)おぼろ月夜 ○星空はいつも ・校歌	【知①】曲想と音色、旋律の反復や変化、歌詞の内容との関わりについて理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知②】曲想と歌詞の内容や旋律の特徴、強弱との関わりを理解し、各声部の歌声や全体の響きを聴きながら声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知③】二部合唱と楽器の音が重なる全体の響きを聴きながら、声や音を合わせて演奏する技能を身に付けて歌ったり演奏したりしている。	【思・判・表①】曲想と旋律の反復や変化、音色、歌詞の内容との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表②】音色、旋律の特徴、呼びかけとこたえを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように表現するかについて思いや意図をもっている。	【態①】曲想と旋律の特徴や強弱、歌詞の内容との関わりに興味・関心をもち、曲想に合った歌い方を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態②】歌声と楽器の響きの関わりに興味・関心をもち、各旋律の特徴を生かした表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。
2. いろいろな音色を感じ、取ろう ♪木 星 ◇ラバーズ コンチェルト ☆ボイスアンサンブル	【知①】曲想とその変化の特徴や、楽器の音色と旋律の反復や変化、拍子の違いなどとの関わりについて理解している。 【知②】曲想と楽器の音色、リズム、旋律、音の重なりとの関わりについて理解している。 【知③】思いや意図に合った表現にするために必要な楽器の音色や響きに気を付けて、各声部が重なり合う響きを聴き合いながら、音を合わせて演奏する技能を身に付けて合奏している。 【知④】声の音色やリズムのつながり方や重ね方について、それらが生み出すよさや面白さなどに関わらせて理解し、反復、変化、音楽の縦と横との関係を用いて、全体のまとめりを考えて音楽をつくる技能を身に付けてリズムアンサンブルをつくっている。	【思・判・表①】楽器の音色、旋律の反復や変化、拍子の違いを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見出し、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表②】楽器の音色、リズム、旋律、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、演奏の仕方や全体のバランスを工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③】声の音色、リズム、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、音楽づくりの様々な発想を得たり、どのように全体のまとめりを意識した音楽をつくるかについて思いや意図をもったりしている。	【態①】曲想やその変化と、オーケストラの楽器の音色や旋律の反復や変化、拍子の違いなどとの関わりに興味・関心をもち、オーケストラの響きを味わいながら聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【態②】曲想と楽器の音色や響き、旋律の特徴などとの関わりに興味・関心をもち、友達と協働して、パートの役割を生かした楽器を選んで演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態③】声の響きが重なる面白さを生かして音楽をつくる活動に興味・関心をもち、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に音楽づくりの学習活動に取り組もうとしている。

3. 旋律の特徴を生かして表現しよう (共)われは海の子 ◇メヌエット	【知①】曲想とリズム、旋律、強弱、歌詞の内容との関わりについて理解する。 【知②】思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて、響きのある歌い方を歌う技能を身に付けて歌っている。 【知③】曲想と音色や旋律、音の重なり、フレーズとの関わりを理解し、リコーダーの音色や響きに気を付けて演奏する技能や、互いの音を聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。	【思・判・表①】曲想と歌詞の内容や、旋律の音の動き、リズムの特徴、強弱との関わりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表②】リコーダーの音色、旋律、音の重なり、フレーズを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	【態①】曲想とリコーダーの音色や響き、旋律のまとまりとの関わりに興味・関心をもち、旋律の特徴やまとまりを生かして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。
4. いろいろな和音のひびきを感じ取ろう ○星の世界 ◇雨のうた ☆和音の音で旋律づくり	【知①】曲想と旋律、音の重なり、和音の響きなどの関わりについて理解している。 【知②】思いや意図に合った表現をするために必要な、響きのある歌い方で歌う技能や、各声部の歌声や和音の響きやその移り変わり、伴奏を聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知③】曲想と楽器の音の重なりや和音の響き、調、音楽の縦と横との関係との関わりを理解し、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて、音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。 【知④】旋律の音やフレーズのつなげ方の特徴を理解し、和音に含まれる音や与えられたリズムを基に即興的に旋律をつくったり、反復、変化などを用いて自分なりのまとまりのある旋律をつくったりしている。	【思・判・表①】旋律、音の重なり、和音の響きを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、各声部の音量のバランスなど、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表②】楽器の音の重なりや和音の響きの移り変わり、調、音楽の縦と横との関係を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、和音の響きの違いや旋律の重なり方の違いを生かして曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③】リズム、旋律の音の動き、和音の響きの移り変わりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、音やフレーズのつなげ方を工夫し、音を音楽へと構成することを通して、どのように全体のまとまりを意識した音楽をつくるのかについて思いや意図をもっている。	【態①】長調と短調の和音の響きの違いや美しさに興味・関心をもち、範奏を聴いたり、ハ長調やイ短調の楽譜を見たりして演奏する学習に主体的に取り組もうとしている。 【態②】和音の響きやその移り変わりへの興味・関心を深め、和音に含まれる音を使って旋律をつくる学習に主体的に取り組もうとしている。

5. 曲想の変化を感じよう ○思い出の メロディー ♪ハンガリー舞曲 第5番 ◇風を切って	【知①】曲想と歌詞の内容やリズム、旋律の特徴、強弱、音の重なりとの関わりを理解している。 【知②】思いや意図に合った表現をするために必要な、自然で無理のない響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知③】曲想やその変化と、旋律の反復や変化、速度、調との関わりを理解している。 【知④】曲想と音色、速度、旋律、音の重なりなどとの関わりについて理解している。 【知⑤】思いや意図に合った表現をするために必要な、音色や響きに気を付けて演奏する技能や、各声部の楽器の音や全体の響きを聴いて音を合わせて演奏する技能を身に付けて演奏している。	【思・判・表①】リズム、旋律の特徴、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表②】曲想と旋律の反復や変化、速度、強弱、調との関わりについて理解したことを生かしながら、曲や演奏のよさなどを見いだし、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表③】音色、速度、旋律の反復や変化、強弱、音の重なりを聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き、聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように演奏するかについて思いや意図をもっている。	【態①】言葉のまとまりと語感と旋律との関わりに興味・関心をもち、友達と協働して、曲想の変化を味わいながら歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【態②】曲想と旋律の反復や変化、速度など音楽の構造との関わりに興味・関心をもち、曲想の移り変わりを味わいながら聴く学習に主体的に取り組もうとしている。 【態③】パートの役割に興味・関心をもち、友達と協働して曲想を生かした表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。
6. 詩と音楽の関わりを味わおう ♪花 ♪箱根八里／荒城の月 (共)ふるさと	【知①】曲想と声の音色や合唱の響きの違い、歌詞の内容などとの関わりについて理解している。 【知②】曲想と歌詞の内容、旋律の特徴、強弱、音の重なり、変化との関わりを理解し、呼吸や発音の仕方に気を付けて、自然で無理のない、響きのある歌い方で歌う技能を身に付けて歌っている。 【知③】思いや意図に合った表現をするために必要な、各声部の歌声や三部合唱の響きを聴いて、声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。	【思・判・表①】曲想と歌詞の内容や速度、旋律、強弱、音の重なりとの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、日本の歌曲の詩や旋律の美しさ、曲全体を味わって聴いている。 【思・判・表②】歌詞の内容や旋律の特徴、強弱、音の重なり、変化と曲想との関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫し、どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態①】人々が大切にしてきた歌を味わい、詩と音楽の関わりに興味・関心を深め、友達と協働して、曲の特徴にふさわしい表現を工夫する学習に主体的に取り組もうとしている。
7. 日本や世界の音楽に親しもう (共)越天楽今様 ♪雅楽	【知①】曲想と音色、旋律などとの関わりについて理解している。 【知②】思いや意図に合った表現をするために必要な、呼吸及び発音の仕方に気を付けて歌う技能を身に付けて歌っている。	【思・判・表①】雅楽の楽器の音色、旋律を聴き取り、それらの生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え、曲や演奏のよさなどを見いだし、音楽を味わって聴いている。	【態①】日本に古くから伝わる音楽や世界の国々の音楽に興味・関心をもち、それぞれの音楽の特徴や雰囲気について、自分の考えを伝えたり友達の考えを聴いたりする学習に主体的に取り組もうとしている。

「越天楽」 ♪世界の国々の音楽	【知③】曲想と音色，旋律の特徴，音の重なりなどとの関わりについて理解している。	【思・判・表②】曲想と歌詞の内容や音色，旋律との関わりについて考え，曲の特徴にふさわしい表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表③】世界の国々の楽器の音色，旋律，音の重なりなどを聴き取り，それらの生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったこととの関わりについて考え，曲や演奏のよさなどを見だし，音楽を味わって聴いている。	
8. 音楽で思いを伝えよう ○きつと届け る ○さよなら友 よ ○あおげばとうとし ・国歌「君が代」	【知①】曲想と歌詞の内容や旋律，音の重なり，フレーズなどの関わりについて理解している。 【知②】思いや意図に合った表現をするために必要な，各声部の歌声や全体の響き，伴奏を聴いて，声を合わせて歌う技能を身に付けて歌っている。 【知③】曲想と歌詞の内容や旋律の重なり方など，音楽の構造との関わりについて理解し，呼吸や発音の仕方に気を付けて，響きのある声で歌う技能を身に付けて歌っている。	【思・判・表①】旋律，音の重なり，フレーズを感じ取り，それらの生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲の特徴にふさわしい表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。 【思・判・表②】旋律，強弱，音の重なりを聴き取り，それらの生み出すよさや面白さ，美しさを感じ取りながら，聴き取ったことと感じ取ったこととの関わりについて考え，曲の特徴にふさわしい表現を工夫し，どのように歌うかについて思いや意図をもっている。	【態①】言葉のまとまりとフレーズとの関わりに興味・関心をもち，歌詞の表す気持ちが伝わるように友達と声を合わせて歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 【態②】これまでに学習してきたことを生かして，音楽で思いを伝えることに興味・関心を深め，友達と協働して，表情豊かに歌ったり，感謝の気持ちを込めて歌ったりする学習に主体的に取り組もうとしている。
「みんなでたのしく」			